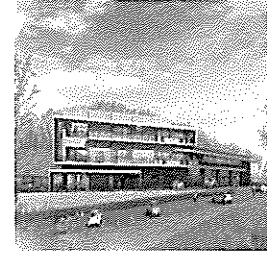


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相楽中部消防組合消防本部(署)新庁舎	階数	地上3F
建設地	京都府木津川市城山台九丁目1番の1	構造	RC造
用途地域	市街化区域、木津中央地区計画区域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年10月28日
敷地面積	15,476 m ²	作成者	株式会社ニュージェック 宮原 嘉成
建築面積	2,334 m ²	確認日	
延床面積	4,600 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 73% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 71%

④上記+ 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	高い断熱性能の断熱材を使用したり、快適な空間のために十分な天井高を確保するなど、付加価値を設けた。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	特になし。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	特になし。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	BPIm=0.67, BEIm=0.60	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	特になし。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	特になし。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される